

Sustainability

Vision for Lifelong Beauty Partner—Milestone2030

サステナビリティ戦略

2025年度進捗実績報告

美しい知恵 人へ、地球へ。

株式会社コーセーホールディングス

2026年4月6日



Your Lifelong Beauty Partner

誰とも比べることができない、自分だけの輝き。
世界中の一人ひとりが、その価値に気づき
どんな瞬間も、あなたらしく自由に輝けるように。
ともに個性を引き出し、幸せで満たしたい。

コーセーは、美を通じて人と地球に寄り添い
かけがえのない生涯を
いつまでも明るく彩っていきます。

美しい知恵 人へ、地球へ。

サステナビリティ戦略の考え方

コーセーグループにおける「サステナビリティ戦略」は、中期戦略の中で、社会・環境領域の重要課題(マテリアリティ)解決に向けて、価値創出や企業基盤に関わる戦略にサステナビリティ戦略を掛け合わせて、様々な取り組みを強化する役割を担っています。サステナビリティ指針として、企業メッセージ「美しい知恵 人へ、地球へ。」を掲げ、基盤となるポリシーとして、行動規範と同じ「正しきことに従う心」を設定。人と地球に寄り添い、社会と企業の持続的成長の両立を図ることで、社会の在り方や地球環境まで包含した考え方で、真の「Your Lifelong Beauty Partner」となることを目指します。

■サステナビリティ指針

美しい知恵 人へ、地球へ。

企業メッセージで定められた通り、人々や社会全体と、地球の未来の双方に私たちが創出した価値を役立てていくことを表現。

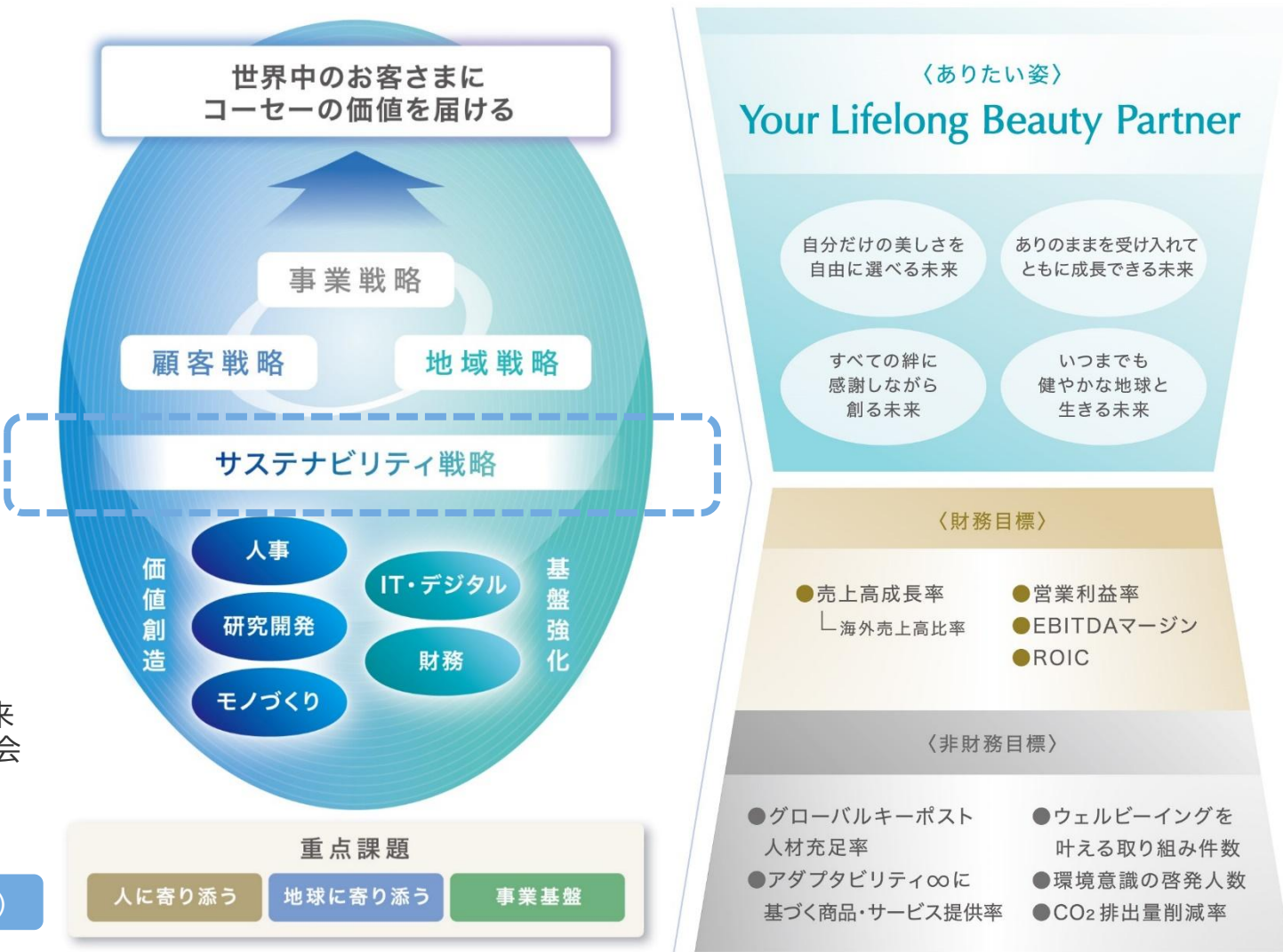
創業以来、社会の絆と自然の恵みを受けて事業活動を実施してきたことから、目指す未来を実現するために「私たちの美しい知恵」を尽くして世界に貢献することを意味する。

■基盤となるポリシー

正しきことに従う心

ガバナンス体制の根幹となる行動憲章と同じく、社名の由来でもある「誠」=誠実な姿勢で、透明性と公正性をもって社会の公器であり続けることを示すポリシー。

▶▶▶サステナビリティの取り組み(WEB)



中期戦略におけるサステナビリティ戦略のハイライト

「サステナビリティ戦略」では、中期戦略でハイライトしている取り組みや目標に加え、中長期ビジョンの重点課題(マテリアリティ)を解決するために、各課題ごとの目標値・取り組みを設定しています。

<ハイライト(人に寄り添う)>

多様性を起点にした 美の価値提案の継続

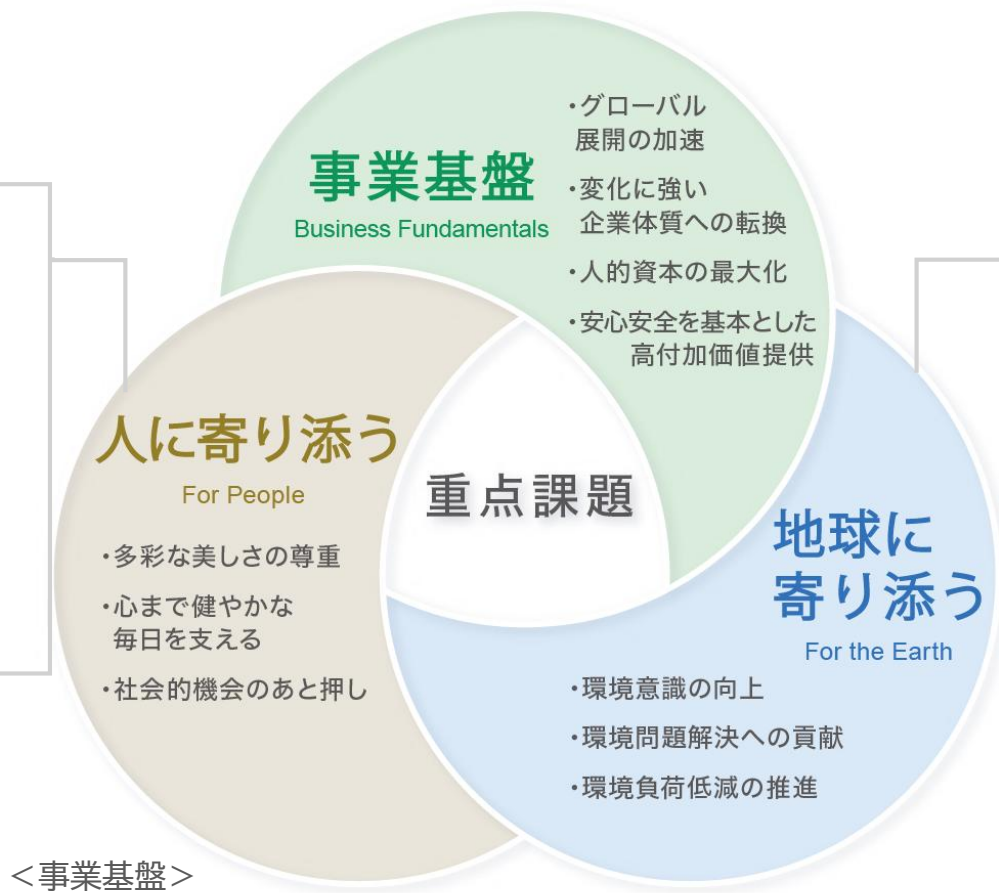
- ・事業活動における多様性配慮などアダプタビリティ施策のさらなる推進
- ・美の多様性に関する世論醸成への積極的な関与

指標: アダプタビリティ∞(エイト)に基づく商品/サービス提供率

美を通じた心身および日々の生活における充足感の拡大

- ・ウェルビーイング領域における事業と社会貢献双方の活動
- ・次世代啓発など、注力する分野の明確化と支援体制の確立

指標: ウェルビーイングを叶える取り組み件数



<事業基盤>

基盤強化を支えるサステナビリティ推進課題

- ・人権の尊重
- ・お客さま志向
- ・コーポレートガバナンス体制の強化
- ・サプライチェーンマネジメント

<ハイライト(地球に寄り添う)>

消費者の環境保全マインド啓発

- ・商品等における環境数値公表を通じた環境寄与の可視化
- ・消費者の購買選択の一助となる積極的な環境情報発信

指標: 環境意識の啓発人数

グローバル拠点およびバリューチェーン全体での環境負荷低減策の推進

- ・グローバル動向の情報集約に向けた取り組み強化
- ・気候変動対策等におけるバリューチェーンでの情報把握強化

指標: CO2排出量削減率 (Scope1・2・3)

取り組みテーマの進捗状況(人に寄り添う)

| 重要課題 | コミットメント | 指標 | 2025年度実績 | 目標値 | 達成年 | 対応するSDGs目標 | |
|----------------|--|---|------------------------------|----------------|-----------|------------|--|
| 人に寄り添う | 多彩な 美しさの尊重 | アダプタビリティ [∞] に基づく 商品サービスの 提供 | 88.8%*1 | 100% | 2030 | | |
| | 心まで健やかな 毎日を支える | ウェルビーイング を叶える取り組み | 265件 2020年度からの 累計値 | 500件 以上 | 2030 | | |
| | | 社会の人々が、 美を通じて ウェルビーイングを 実感できる 活動に取り組みます | 体験を基本とする 社会貢献活動 | 2027年度 開示予定 | 5万人 以上 | 2030 | |
| | | 認証原料の調達と ブック&クレーム方式 によるRSPO 認証クレジットの購入 | | 45.4% | 100% | 2030 | |
| 社会的機会の あと押し | 社会・社員の誰もが、 多様な個性を發揮しながら 社会参加の機会を得られる 取り組みと啓発を行います | 3G*2を主軸とした DE&Iの啓発と 取り組み | 993,047人 2020年度からの 累計値 | 100万人 以上 | 2030 | | |

*1 独自の8つの取り組みテーマ「アダプタビリティ[∞]」から、各ブランドが毎年注力する項目を決定し、その項目数に対して達成したサービス商品数をカウントし総合達成率を算出

*2 グローバル、ジェンダー、ジェネレーションを表す造語

取り組みテーマの進捗状況(地球に寄り添う①)

| 重要課題 | コミットメント | 指標 | 2025年実績 | 目標値 | 達成年 | 対応するSDGs目標 |
|------------|--|--------------------------|----------------------------|---------------------------|------|------------|
| 環境意識の向上 | お客さまに、商品サービスと情報発信を通じて、環境課題への気づきの機会を提供します | 商品/サービスと情報発信を通じた環境意識の啓発 | 7,803,684人 2020年度からの累計値 | 1,000万人以上 | 2030 | |
| | | 水保全に関連する啓発 | 217,362人 2025年度からの累計値 | 200万人以上 | | |
| 環境問題解決への貢献 | 地球上の様々な地域の環境課題の解決や保全に取り組みます | 地球環境貢献活動 | 55件 2025年度からの累計値 | 100件以上 | 2030 | |
| | | 水辺の環境貢献活動 | 2027年度 開示予定 | 1万人以上 | 2030 | |
| | | 原料栽培地での生態系保全と回復につながる取り組み | 14件 2025年度からの累計値 | 30件以上 | 2030 | |
| | | 水源涵養の取り組み | 4件 2025年度からの累計値 | 10件以上 | 2030 | |
| | | 植サンゴ面積 | 13,036㎡ 2009年度からの累計値 | 20,000㎡ 25m公認プール面積約53倍 | 2030 | |

地球に寄り添う

取り組みテーマの進捗状況(地球に寄り添う②)

地球に寄り添う

| 重要課題 | コミットメント | 指標 | 2025年実績 | 目標値 | 達成年 | 対応するSDGs目標 |
|-------------|-------------------------------------|---------------------------|--|---------------------|------|------------|
| 環境負荷低減の推進 | CO ₂ 排出量の削減 | Scope 1・2 | ▲50.2%*1 2018年比・総量 | ▲55% 2018年比総量目標 | 2030 | |
| | | | 12,772.5 t-CO ₂ *1 | カーボンニュートラル | 2040 | |
| | | Scope 3 | ▲20.2%*1 2018年比・総量 | ▲30% 2018年比総量目標 | 2030 | |
| | | Scope1・2・3 | 792,687.6 t-CO ₂ *1 | ネットゼロ | 2050 | |
| | プラスチック容器包装の環境配慮設計 | 4Rに適合した容器包装資材の採用 | 4R対応率 46.2%*2 4R:Reduce/Reuse/Recycle/Renewable | 100% | 2030 | |
| | | 再生プラスチックバイオマスプラスチック採用率 | 28.0%*2 | 50% | | |
| | | 石油由来バージンプラスチック使用量 | ▲16.9%*3 | ▲50% 2018年比生産原単位 | | |
| | | レフィル化率 | 43.4%*4 | 50% | | |
| | 廃棄物削減と資源循環の推進 | リサイクル率 | リサイクル率100%*5 | 100% | 2025 | |
| | | 埋め立てされない廃棄物 | 2027年度 開示予定 | | 2030 | |
| 責任ある水資源利用 | 水使用量削減 | 11.3%*1*5 2018年比・生産原単位 | ▲12% 2018年比生産原単位 | 2030 | | |
| 責任あるパーム油の調達 | 認証原料の調達とブック&クレーム方式によるRSPO認証クレジットの購入 | 45.4% | 100% | 2030 | | |

*1 第三者検証後2026年9月更新 *2 対象年に発売した新製品の実績 *3 対象年に出荷した製品の実績
*4 対象年にラインアップしていたスキンケア・ヘアケア製品のボトル・ジャー容器を対象 *5 コーセーグループ生産部門



人に寄り添う

多彩な美しさの尊重

アダプタビリティ ∞ に基づく商品サービスの提供

Adaptability

「お客さま発想」をより広げるために、多様なお客さまに対応できるよう、個のアイデンティティに着目した価値づくりを推進。

具体的な8つの取り組みテーマを設定し、「Adaptability ∞ 」と名づけ、あらゆる価値づくりに展開。

また、新たなお客さまづくりに向けたキーワード、

「Global(グローバル)」「Gender(ジェンダー)」「Generation(ジェネレーション)」の“3G”も、

アダプタビリティと連動し、独自の価値を創出。

- 誰も取り残さない
- 多様な文化へ溶け込む
- あらゆる肌と髪に向き合う
- 使いやすい、分かりやすい
- ジェンダーにとらわれない
- 誰もが心地よい表現を使う
- 個々のポリシーに寄り添う
- 幅広い世代の垣根を超える

Adaptability ∞ の例

多様な肌色への対応

女性支援

あらゆる人に配慮した表現

使いやすい容器

発展途上国支援

スポーツ支援

子どもも使える化粧品

3G
Global
Gender
Generation

人に寄り添う

多彩な美しさの尊重

アダプタビリティ ∞ に基づく商品サービスの提供

Adaptability

消費者の声を形にし、使いやすさを追求したユニバーサルデザイン

世界初^{*}化粧品処方^{*}の開発で毛穴トラブルに最適アプローチ



■ 視認性・可読性を高めた書体デザイン

旧 INFINITY KOSÉ 新 INFINITY KOSÉ

■ 片手で簡単に開閉、開けやすく取り出しやすい側面開き

<容器>

底面に滑りにくいエラストマー樹脂を採用
※8 特許出願中

- 回転数を減らし、片手でも開閉しやすい
- 曲線のくぼみがフィットして取りやすい設計

<外箱>

※9 特許出願中



『インフィニティ』の「ザリペア」ラインは、充実のハリ肌へ導く効果と、徹底したユーザー視点の使いやすさを追求しました。消費者の声を形に、軽い力で開く容器や視認性を高めたデザインを実現。身体的な負担を軽減し、すべての人が心地よくお手入れを続けられる、未来を見据えた設計。

ニュースリリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000693.000041232.html>

『DECORTÉ』のクレンジング美容液「AQ 毛穴美容液オイル」は、量子コンピュータの処方ロジックで複雑な角栓へ科学的にアプローチします。蓄積した汚れを誰もがホームケアで効果的に除去できる新習慣を提案。

^{*}量子コンピュータを用いて化粧品の処方^{*}を計算したこと

ニュースリリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000671.000041232.html>

人に寄り添う

心まで健やかな毎日を支える

ウェルビーイングを叶える取り組み

ウェルビーイングに向けた取り組み推進
社員の健康のためのカラダ改革イベント開催



社員の健康維持を目的としたカラダ改革イベントを開催。個々に合わせエクササイズ指導や転倒リスク防止を目的とした立位年齢を測定し、運動などのアドバイスや、食生活改善の提案等を実施。

コーサー サステナビリティページ | 地域社会とともに

<https://koseholdings.co.jp/ja/kose/sustainability/community/>

次世代のウェルビーイングにつながる共同研究が
キッズニア白書に掲載



© & © KidZania 2026 / © KCJ GROUP

”きれいをもっと自由に” 外見のケアにとどまらず、自己肯定感や多様性理解を支える観点から、次世代のウェルビーイングにつながるヒントを発信する共同研究をキッズニアと実施。

キッズニア白書

https://www.kidzania.jp/corporate/common/pdf/KidZania_wp_2025.pdf

人に寄り添う

社会的機会のあと押し

3Gを主軸としたDE & Iの啓発と取り組み

DE & I推進に向けた
学校・自治体との取り組み

障がいの有無にかかわらず活躍できる職場を目指した
当事者ユニットの結成とDE & I講座の実施



多様性を尊重する意識の醸成と、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現を目指し、さまざまな教育機関や地方自治体と連携し、取り組みや啓発活動を推進。武庫川女子大学・昭和女子大学での講義、大阪府八尾市役所での男女共同参画研修、そして兵庫県姫路市のクリスマスイベントにてワークショップを実施。

コーセー サステナビリティページ | 取り組み1:ジェンダーダイバーシティ
<https://koseholdings.co.jp/ja/sustainability/diversity/action1/>



個々の強みを活かし、「働く喜びや楽しさの実感」を掲げて誕生した「創夢ユニット」では、障がいのある社員が備品管理や清掃を担い、役割を持って活躍。誰もが働きやすいオフィス環境作りをサポート。また、障がいのある当事者の視点から、ユニバーサルデザインのインフラやソリューション提供を行う株式会社ミライロの垣内社長を招き、障がいも多様性の1つとして捉え、価値に変えるためのオンライン講座を実施。

コーセー サステナビリティページ | 取り組み2:多様な個性への対応
<https://koseholdings.co.jp/ja/sustainability/diversity/action2/>

地球に寄り添う

環境意識の向上

商品/サービスと情報発信を通じた環境意識の啓発

店頭容器回収プログラム
「雪肌精 BLUE・Prédia BLUE Recycle Project」を開始



雪肌精 BLUE Prédia BLUE
Recycle Project



旗艦店には回収ボックスを設置

「雪肌精 BLUE」と「Prédia BLUE」の全国の取扱店舗にて、使用済みの容器を回収するプログラムをスタート。ブランド価値を活かした資源循環の取り組みを通して、お客様とともに持続可能な循環型社会の実現に貢献。

「雪肌精 BLUE」「Prédia BLUE」ブランドサイト
<https://sekkisei.jp/site/p/recycleproject.aspx>

コーセー・花王・イオンリテールと3社協働
化粧品プラスチック容器の水平リサイクルの取り組みを開始

使用済み化粧品容器を新しい化粧品容器へ再生する
化粧品プラスチック容器 リサイクルプロジェクト

対象品 カネボウ、ソフィーナ、コーセーのスキンケア品のプラスチック容器、プラマークがついている容器

| | |
|---|---|
| <p>回収OKなアイテム</p> <p>スキンケア品でプラマークが記載されたプラスチック製のもの ※パウチ容器は除く</p> | <p>回収NGなアイテム</p> <p>メイクアップ品 ロフト・マスカラ・ネイル・ファンデーション・詰め替えコハートなど パウチ容器 ガラス容器 エアゾール剤 紙や木製素材</p> |
|---|---|

回収方法 プラスチック容器の内側を水道水で洗い、乾かしてから、回収BOXへ入れてください(回収後のご返却できません)

洗淨 → 乾燥 → 回収BOXへ

株式会社コーセーと花王株式会社は、イオンリテール株式会社と協働し、東京都・千葉県・埼玉県の「イオン」「イオンスタイル」約70店舗に回収ボックスを設置し、「化粧品プラスチック容器の水平リサイクル」の取り組みを本格運用として開始。

ニュースリリース
<https://koseholdings.co.jp/ja/kose/news/9577/>

地球に寄り添う

環境意識の向上

商品/サービスと情報発信を通じた環境意識の啓発

雪肌精「SAVE the BLUE～Ocean Project～」
地域の小中高生およびBCを対象に「サンゴ留学」を実施



プロジェクトの一環で、沖縄県読谷村・糸満市の地域の方々との交流に加え、社員研修として雪肌精のコンクール全国優秀BCを対象に、サンゴの株分け体験やビーチクリーン活動を通して環境意識の向上に取り組む「サンゴ留学」を実施。

PRTIMES

<https://prtims.jp/main/html/rd/p/000000703.000041232.html>

アルビオン
白神研究所による環境配慮型原料開発の思想を伝える絵本出版



自然に寄り添う農法で育てた植物への想いを、研究所長自らが言葉にした絵本を出版。植物と向き合う姿勢を伝え、社員の環境意識やエンゲージメントの向上、ブランド価値の醸成につなげている。

絵本「しらかみのちいさなハーブたち」 出版:三恵社

<https://www.sankeisha.com/book-search/detail/20251029083133>

地球に寄り添う

環境意識の向上

水保全に関連する啓発

コーセーグループの水への想いや取り組みを発信
～水シンポジウム 2025 in やまなし～



「豊かな水を求めて探し当てた山梨への想い」について、化粧品と親和性のある豊富な水資源と自然環境に焦点を当て、南アルプス工場を建設するに至った経緯を紹介。また、コーセーグループのサステナビリティ戦略や、TNFD開示とコーセーグループの水に関する取り組みについて紹介。

「第29回 水シンポジウム in やまなし」
<https://amsys.jp/mizusympo2025/>

コーセー・コーセーコスメポート・コーセーインダストリーズ・アルビオン
内閣官房「水循環ACTIVE企業」に認証



コーセーインダストリーズ
「全国水調査への協力」



アルビオン
「基準より高い工場排水の水質基準管理」

「水循環企業登録・認証制度」において、コーセーグループの水循環に関する積極的な取り組みが評価され、「水循環ACTIVE企業」に認証を取得。上記のコーセーインダストリーズ、アルビオンとともに、コーセーでは、「企業版ふるさと納税」を活用した山梨県南アルプス市の自然環境保全活動推進や、コーセーコスメポートでもビオリスの植樹で認証を取得。

水循環ACTIVE企業
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/mizu_junka_n/category/active_introduction.html

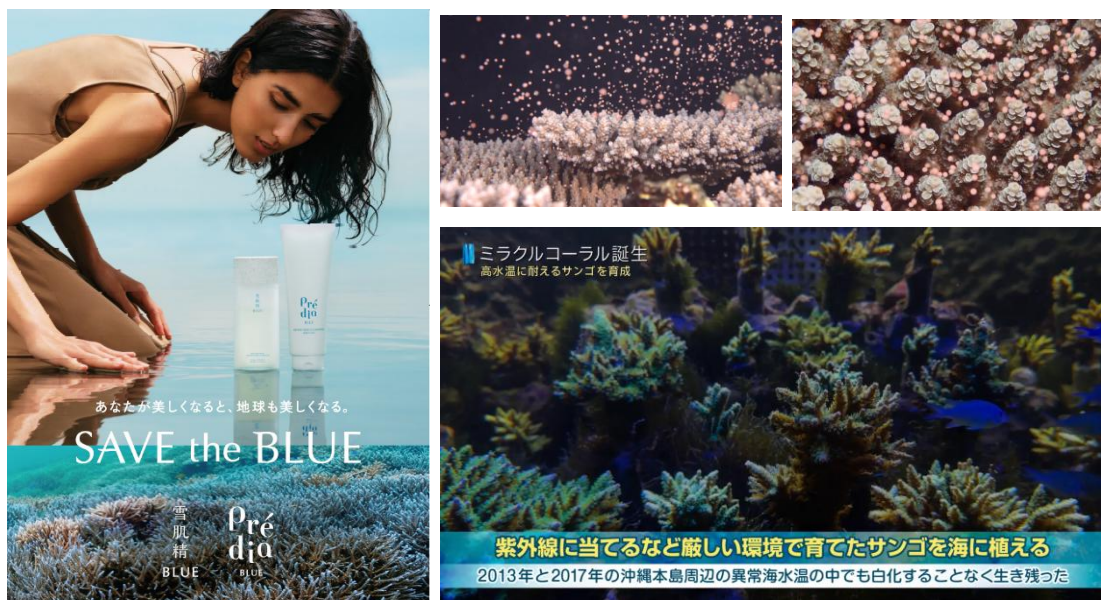
ニュースリリース
<https://koseholdings.co.jp/ja/news/9700/>

地球に寄り添う

環境問題解決への貢献

水辺の環境貢献活動

17年目の雪肌精「SAVE the BLUE～Ocean Project～」
高温耐水性に優れたサンゴの出現を確認、継続して植え付けを実施



これまでの17年の活動により、累計130,356,598cm³のサンゴの植え付けを実施。さらに、プロジェクト内では異常海水温の中でも白化しにくい高温耐性に優れたサンゴ「ミラクルコーラル」が確認され、それらを観察・研究し植え付けを継続することで地球温暖化による気候変動や生態系の変化に関する関心を高めるきっかけを創出。

雪肌精「SAVE the BLUE」プロジェクトWEBページ
https://sekkisei.jp/site/p/savetheblue_ocean_project.aspx

ニュースリリース
<https://koseholdings.co.jp/ja/kose/news/9330/>

水保全活動につながる水辺のクリーン活動、雪肌精・AL沖縄研究所「クリーンピック」への参加、KCP「ビーチクリーン活動」実施



水資源を守る取り組みとして、各地で水辺のクリーン活動を展開。「雪肌精」「AL沖縄研究所」メンバーは、沖縄県浜比嘉島で行われたNPO法人主催の「クリーンピック」へ参加。コーセーコスメポートは日やけ止めブランド『サンカット®』のサステナビリティの取り組みとして、神奈川県材木座海岸でビーチクリーン活動を推進。

ニュースリリース
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000325.000064425.html>

地球に寄り添う

環境問題解決への貢献

原料栽培地での生態系保全と回復につながる取り組み

アルビオン、宮古島市の企業と協業
沖縄研究所オリジナル化粧品原料を開発、初めて新製品に配合



「フラルネ」の乳液に配合

アルビオン沖縄研究所※は、開設から4年を経て、宮古島産のハートリーフ(マデイラカズラ)の葉から抽出したエキスの原料化に成功し製品に配合。有機JASの畑で栽培し、土壌劣化防止、水質保全、生物多様性等に配慮。
※2021年4月開設。沖縄の植物や海洋資源に着目した化粧品原料の開発を目指し取り組みを実施。

ニュースリリース

<http://www01.rashisa.albion.co.jp/news/details.html?id=14316>

原料素材となる“白樺“を植樹し、持続可能なサイクル構築を目指す
「DECORTÉ 白樺の森プロジェクト」で白樺の植樹を実施



白樺の森林保全と地域創生を目的に、北海道美深町を支援する「DECORTÉ 白樺の森プロジェクト」の一環として初の植樹。原料素材となる“白樺“を植樹し、持続可能なサイクル構築を目指す。植樹には、コーセー社員に加え、美深町長、自治体関係者、コーセーと取引のある化粧品専門店様、地元の小学生8名も参加。

「DECORTÉ 白樺の森プロジェクト」

https://www.decorte.com/site/s/sdgs_sip_whitebirch.aspx

地球に寄り添う

環境問題解決への貢献

水源涵養の取り組み

「企業版ふるさと納税」を活用した山梨県南アルプス市の自然環境保全活動推進



伊奈ヶ湖周辺への植樹
2023年3月

2025年9月の様子

シーズン中に売り切れなかった商品をお求めやすい価格で提供する、「KOSÉ Green Bazaar」における収益の一部を企業版ふるさと納税で南アルプス市の環境保全活動に寄附。同市が推進する、伊奈ヶ湖の周辺施設管理運営事業「いろはかえでの植樹」や間伐などの森林整備を実施。

ニュースリリース

<https://koseholdings.co.jp/ja/media/2022/06/2022062901.pdf>

「BIOLISS PEACEFUL GREEN プロジェクト」
～森林再生と地域振興につなげる植樹活動～



毎年社員が参加し植樹を実施

ヘアケアブランド『ビオリス』が実施する環境保全活動では、2022年、山梨県笛吹市に「ブナ、ミズナラ、ヤマザクラ、キハダ」など広葉樹の苗木400本を植樹。現在では、約160～200cmに成長し、多様な生態系の回復に貢献。累計1,600本植樹、植樹総面積3,372㎡、想定CO₂吸収量900Kg

ニュースリリース

<https://www.kosecosmeport.co.jp/corporate/source/250528PEACEFULGREEN.pdf>

地球に寄り添う

環境負荷低減の推進

CO₂排出量の削減、プラスチック容器包装の環境配慮設計

国内全生産拠点において100%再生可能エネルギー導入



アルビオン熊谷工場



アドバンス

生産活動に伴う環境負荷低減の一環として、2025年7月にアドバンス、2025年9月にアルビオン熊谷工場において、購入電力を全量再生可能エネルギーへと切り替え。これにより、既に導入済みのコーセーインダストリーズ狭山工場・群馬工場と合わせ、国内グループ全4工場において再生可能エネルギーを導入。

コーセー サステナビリティページ | 生産における取り組み

<https://corp.kose.co.jp/ja/sustainability/environment/production/>

アルビオン

自社の廃棄包装資材から再生されたプラスチックを容器に割り当て



アルビオンは、新たな資源循環型モデルの成果として、スキンケアシリーズ新「フラルネ」の容器に自社廃棄包装資材を再生利用したプラスチックを導入し、環境配慮型容器の社会実装を実現。

ニュースリリース

<https://rashisa.albion.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/07/7.17-.pdf>

FLARUNÉ Webサイト

<https://www.albion.co.jp/closeup/flarune/>

地球に寄り添う

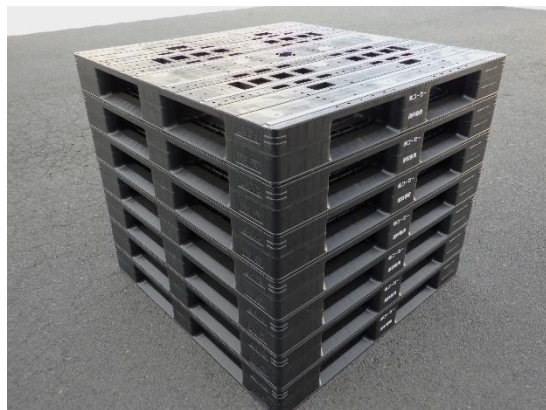
環境負荷低減の推進

廃棄物削減と資源循環の推進、責任あるパーム油調達

コーセー、プラスチック容器を物流資材へリサイクル



プラスチック容器を再生した樹脂



倉庫で使用しているリサイクルパレット

コーセーは、商品に利用されなかった化粧品プラスチック容器を、倉庫で物資の輸送・保管等に使用するパレットにリサイクル。業界パートナーと協業し、株式会社ナカダイがプラスチック容器を樹脂原料に再資源化、三甲株式会社が成形を担当。廃棄物の削減と物流資材の有効活用を両立する、新たな資源循環を実施。

サステナブルなパーム油調達への取り組み
インドネシアのパーム生産地/小規模農家視察

2025年12月、パーム生産地視察のためインドネシアのパーム生産地や小規模農家を訪問。パームの栽培から製造・販売までを行う企業や小規模農家を視察し、様々なステークホルダーと課題やニーズについて対話をし、現地状況の認識を深めた。

ESGインデックスへの組み入れ

FTSE4Good Index Series



FTSE4Good

FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom
Japan Index

FTSE Blossom Japan Sector
Relative Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

2026 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数



Morningstar 日本株式 ジェンダー・
ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)

MORNINGSTAR GenDi J

Japan ex-REIT Gender Diversity
Tilt Index

TOP CONSTITUENT 2026

コーセー サステナビリティページ | 外部評価
<https://corp.kose.co.jp/ja/sustainability/recognition/>

サステナビリティに関する社外からの評価と認定

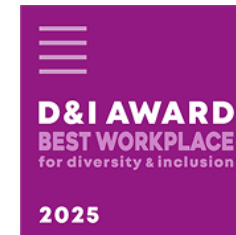
消費者志向経営優良事例表彰



健康経営優良法人認定



D&I AWARD
「ベストワークプレイス」認定



厚生労働省「えるぼし(三段階目)」認定



SBT認定



CDP気候変動・水セキュリティ
Aリスト獲得



水循環ACTIVE企業認証





美しい知恵 人へ、地球へ。

発行：2026年4月

本資料は、どなたにも読みやすいユニバーサルフォントを使用しています